

# 白石小学校だより

山口市立白石小学校  
第 2 号  
2018. 5. 1 発行

## 「山笑う」季節 ～ すてきな すてきな出来事～



新緑の季節となりました。萌黄、薄えび茶、クリーム色など何種類もの緑がパッチワークの様に素敵に広がっている山があります。この淡い色味は4月半ばよりほんの二週間余りですが、命の息吹を感じる一番大好きな季節です。

季語の「山笑う」（「まさにそうだなあ」）を毎年実感しています。

「山笑う」季節、子どもたちも学年初めの緊張感も薄れ、教室や運動場でいい笑顔が増えています。朝、校内や通学路に出て「おはよう」と声をかけると

「おはようございます！」と、にこっと笑顔を添える子ども。（うれしいなあ）

「おほようございま～す！」大きな声であいさつする子ども。（いいなあ）

中には、ちょっと立ち止まって会釈をしながらの挨拶！（感動！！すてきだなあ！）と出会うのです。

まわりの山も子どもも私も、まさに「笑う（笑顔）」の一日のスタートとなります。笑顔とあいさつは まわりを幸せにします。

4月18日の朝、地域の方からうれしいお電話がありました。笑顔、笑顔の出来事です。

昨日、雨の中、自転車で車とすれ違った際に転倒。立ち上がれず、座り込んだ。そこへちょうど白石小学校の子どもが通りかかり、「大丈夫ですか」と自分が使っていた傘を私にさしかけてくれた。家族に来てもらうまで、ずっと話しかけ、さしかけてくれました。本当にうれしかったです。 とのこと。



とってもうれしい出来事（ご連絡）でした。目の前で転倒されて…心配して…傘をさしかけ、話しかけ…

子どもたちの素直で、やさしくて、温かさそして一歩踏み出す勇気が伝わってきます。

「山笑う」5月、子どもたちの未来のため、笑顔のため、「より幸せに生きていく力」の育成に向け、教職員一同さらに力を合わせて取り組んでいきます。

校長 藤永靖彦